

令和8年1月9日

広島市議会議長

八 條 範 彦 様

提出者

広島市議会議員

平 岡 優 一 山 内 正 晃

西 田 浩 大 田 智 弘

第132号議案 令和7年度広島市一般会計補正予算(第6号)
に対する付帯決議案

上記の決議案を別紙のとおり提出する。

第132号議案 令和7年度広島市一般会計補正予算（第6号）に対する
付帯決議案

この度の令和7年度広島市一般会計補正予算案（第6号）には、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業として、「プレミアム付商品券発行事業」の経費68億5,000万円が計上されている。

これは、食料品等の物価高騰による市民の負担を軽減するとともに、消費を喚起し、地域経済の活性化につなげることを目的としており、迅速に対応する必要がある重要な事業である。

しかしながら、プレミアム付商品券の利用開始時期が早くても令和8年5月を予定しているとのことであり、十分なスピード感が確保されているとは言い難い側面がある。

よって、本市議会としては、より早くプレミアム付商品券が市民に行き渡るよう、事業を確実に迅速に実施するため、広島市においては、今後、この予算を執行するに当たり、下記の事項に取り組んでいくよう、強く求めるものである。

記

今回の物価高騰対策は、迅速な対応を行うために国において令和7年度補正予算で措置されたものであることから、その実施に当たっては、可能な限り処理期間を短縮するための対応を行い、早期実施を目指すこと。

以上、決議する。

令和8年1月 日
広島市議会